

平成26年1月31日  
日本原燃株式会社  
東北電力株式会社  
東京電力株式会社  
リサイクル燃料貯蔵株式会社

(公財)地震予知総合研究振興会  
平成25年度 第3回  
下北半島東部の地質構造に関する検討委員会

概要報告

1. 日時 平成26年1月17日(金) 13:30~16:50

2. 場所 学士会館 203(2階)

3. 出席者

主査	千葉大学 名誉教授	伊藤 谷生 (構造地質)
委員	海洋研究開発機構 グループリーダー	高橋 成実 (地殻構造)
	高知大学 特任教授	徳山 英一 (海洋地質)
	産業技術総合研究所 チーム長	阿部 信太郎 (地殻構造)

(敬称略)

事業者 東北電力株式会社 東京電力株式会社  
日本原燃株式会社 リサイクル燃料貯蔵株式会社  
事務局 公益財団法人 地震予知総合研究振興会

4. 議題

- (1) 第2回議事録確認(事務局)
- (2) 第3回検討委員会への主な話題提供について(事業者)
- (3) 海陸の連続的な地質構造に関する考察(事業者)
- (4) 大陸棚外縁断層北方の地質構造(事業者)
- (5) コメント回答
- (6) その他(事務局)

5. 配付資料

- 資料1 平成25年度 第2回 議事概要(案)
- 資料2-1 第3回検討委員会への主な話題提供について
- 資料2-2 海陸の連続的な地質構造に関する考察(海陸統合探査の結果)
- 資料2-3 大陸棚外縁断層北方の地質構造
- 資料2-4 コメント回答
- 資料2-5 第3回検討委員会参考資料集

## 6. 議事概要

主査の議事進行により、第2回検討委員会の議事録の確認がなされた後、事業者から以下2項目について話題提供があった。

また、これまでの委員会でもいただいたコメントに対し、事業者から回答があった。

- ・海陸の連続的な地質構造に関する考察
- ・大陸棚外縁断層北方の地質構造

今回の検討委員会では、昨年実施した地質構造調査結果のうち、下北半島太平洋側から陸奥湾にかけて実施した海陸統合探査結果の現時点における解析結果、大陸棚外縁の北方における他機関の記録の再解析結果について事業者より説明があり、事業者としての考察についても併せて説明があった。これに対し、各委員からデータ解析における留意点や結果の解釈に対するコメントが述べられた。

各委員からの主なコメントは以下のとおり。

- 海陸統合探査により、下北半島東部の地下深部の極めて貴重なデータが取得できたものと考えられることから、データの解析に当たっては、地下深部の地質構造解析に効果が期待できる最新のデータ処理方法についても積極的に試みていくべきである。
- 海陸統合探査結果の評価に当たっては、地下深部の大構造を把握すること、および上部の新第三系中新統（E層およびF層）の構造発達過程を踏まえて検討していくことが重要である。
- 既往の海陸統合探査結果と、今回の探査結果を比較し、相違点について整理し、適宜、既往の探査結果に対する評価も見直していくことが必要である。
- 大陸棚外縁北方の地質構造については、新第三系中新統（E層）の構造や層厚についてのデータを整理し、検討を進めていく必要がある。
- 大陸棚上にBp層およびCp層がない理由や、部分的なA層の欠如について、浅部を対象とした高分解能な記録も参照して、構造発達史の観点から検討を深めること。

以上